

# 健康づくりは幸せづくり

Making Health  
is making happiness



第65期

## 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日

### Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況／次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
トピックス	P.9
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

Z E R I A



株主の皆様には、平素より格別のご支援を  
賜り、厚く御礼申し上げます。

第65期の事業概況に関しまして、ここに  
ご報告させていただきます。

代表取締役会長兼CEO

伊部 幸顕

代表取締役社長兼COO

伊部 充弘

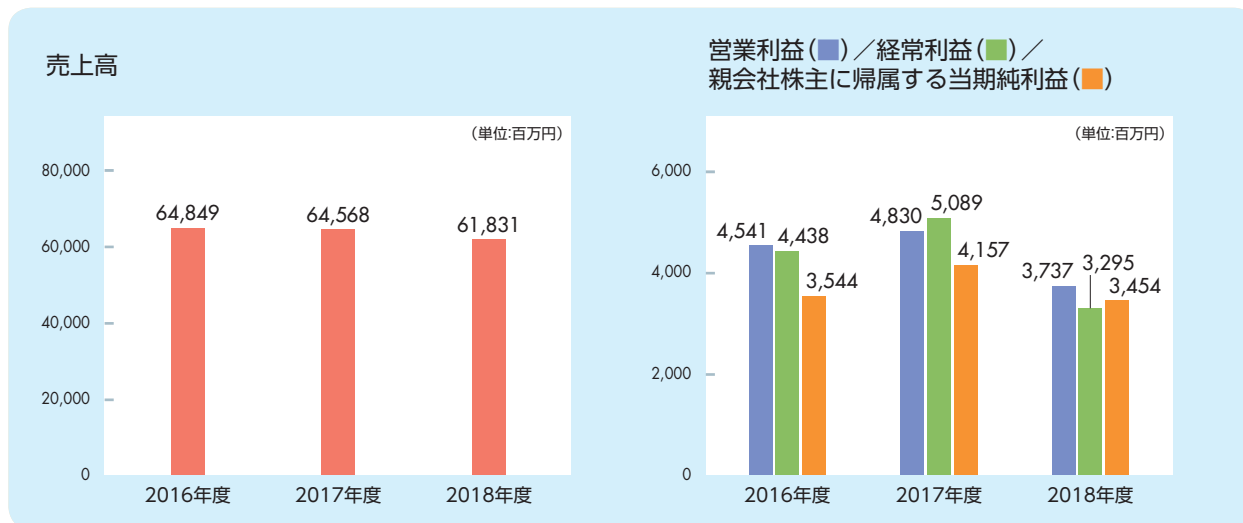
当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中間の通商問題や混迷を極める英国のEU離脱を巡る動きなどがわが国経済に及ぼす影響について、依然として不透明な状況が続いています。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、昨年4月に薬価制度の抜本改革による薬価引き下げを受けたことや、後発医薬品の使用促進など医療費抑制策が強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、第9次中期経営計画(2017年度～2019年度)の2年目にあたる当連結会計年度において、グローバル展開を推進する中、海外売上高を着実に拡大させました。一方、国内においては、車の両輪と捉えております医療用医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業を力強く成長させるべく経営資源の効率的な活用に取り組みましたが、十分な成果を上げるには至りませんでした。

これらの活動の結果、当連結会計年度は、売上高618億31百万円(前期比4.2%減)となりました。利益については、営業利益37億37百万円(前期比22.6%減)、経常利益はスイスフラン高の進行による為替差損の発生により32億95百万円(前期比35.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益34億54百万円(前期比16.9%減)と、いずれも前期比減益となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は28.5%(前期26.3%)となっております。



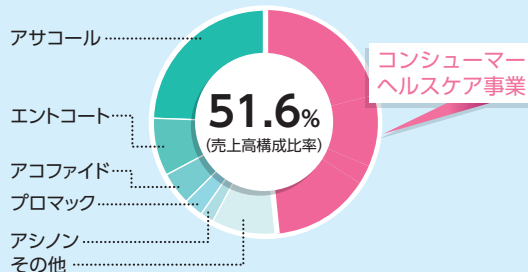
## 医療用医薬品事業

### 売上高

**318億30** 百万円

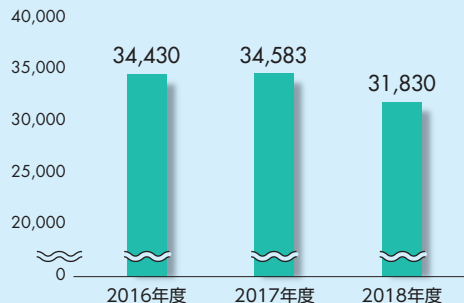
前期比  
▶ 8.0%減

### 主要製品売上高



アサコール	150億円
アントコート	52億円
アコファイド	29億円
プロマック	16億円
アシノン	13億円

### 医療用医薬品事業連結売上高 (単位:百万円)



主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、海外におきましては、主要マーケットである英国やフランスを中心に売上を拡大したものの、国内におきまして、後発品や競合品の影響により苦戦いたしました。また、炎症性腸疾患治療剤「Entocort」(国内販売名:「ゼンタコート」)につきましては、国内、カナダ、北欧、ドイツを中心に売上を順調に拡大いたしました。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」につきましては、引き続き上部内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起こしに努め、進展を図っております。なお、2019年3月に鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト静注500mg」の製造販売承認を取得し、販売開始に向けた準備を進めております。

これらの結果、当事業の売上高は、318億30百万円(前期比8.0%減)となりました。



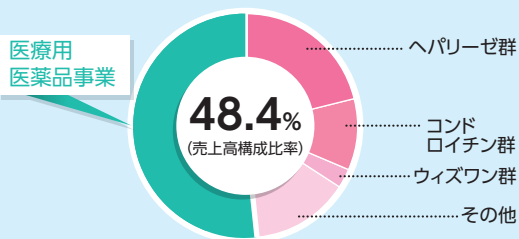
## コンシューマーヘルスケア事業

### 売上高

**298億41** 百万円

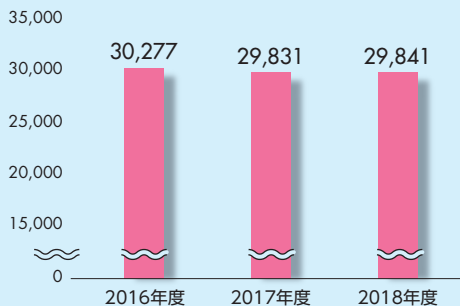
前期比  
▶ 0.03%増

### 主要製品売上高



ヘパリーゼ群	131億円
コンドロイチン群	64億円
ウィズワン群	16億円

### コンシューマーヘルスケア事業連結売上高 (単位:百万円)



主力製品群である「ヘパリーゼ群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上を図ってまいりました。また、当連結会計年度におきましては、新製品を3品目(「ヘパリーゼWプレミアム極」、「ヘパリーゼスーパーリッチ」、「ヘパリーゼW Jelly(ゼリー)」)発売し、製品ラインアップを強化いたしました。これらの拡販策の結果、引き続き売上を拡大いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン群」につきましては、便秘薬市場が伸び悩む中、売上は堅調に推移いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持いたしました。市場競争の激化により苦戦いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、298億41百万円(前期比0.03%増)となりました。



# 研究開発の状況

研究開発におきましては、Tillotts Pharma AGとの連携による新たなグローバル開発体制のもと、最重点領域である消化器分野を中心に、導入品を含めた新薬開発を積極的に推進してまいりました。

新技術を適用した改良型高用量メサラジン製剤「TP05」につきましては、潰瘍性大腸炎治療剤「ASACOL 1600mg」として、2018年12月までに欧州15カ国で承認を取得し、デンマーク、オランダなど4カ国で販売を開始いたしました。現在、その他欧州各国における承認取得と販売開始に向けた準備に注力しております。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」につきましては、2018年3月に製造販売承認申請を実施し、2019年3月に承認を取得いたしました。

「Z-206 (アサコール)」の中国での開発につきましては、フェーズⅢを終了し、2013年5月に承認申請を実施済みで、現在中国当局による審査が進められております。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域7カ国においてフェーズⅢ国際共

同治験を実施しており、これまでに予定された患者登録をすべて終了いたしました。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました「ZG-801」につきましては、高カリウム血症を対象として、国内においてフェーズⅡを開始いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、引き続き西洋ハーブ製剤の開発を進めるとともに、新製品を順次発売いたしました。

なお、「Z-360」につきましては、日本を含むアジア地域において膀胱癌を対象としてフェーズⅡを実施してまいりましたが、開発計画を再検討した結果、本剤の開発を中止することといたしました。

これらの活動の結果、当連結会計年度の研究開発費は前年度実績から減少し、68億32百万円(前期比6.8%減)となりました。

# 研究開発パイプライン

## ● 新薬パイプラインの状況

### I. 国内開発状況

(2019年5月10日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認	Z-213／カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-801／Patiromer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性ポリマー	導入品

### II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206／メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品

### 発売となった開発品

発売日	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
2018年12月 (欧州)	TP05／メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品

自社(Gr)品:自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ\*と比較しながら調べます。

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

\*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

# 生産物流の状況／次期の見通し

## ● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質確保を前提に、工程改善や省エネ設備の導入を推し進め、原価低減に取り組んでまいりました。

生産関連部門では、埼玉工場におきましては、GMP(医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準)が一層厳格になっていく中、無菌製剤設備の更新を行い、医薬品製造業許可更新への対応を完了いたしました。また、医療現場のニーズや最新のレギュレーションに合わせた包装形態の改良なども行いました。筑波工場におきましては、ドリンク剤製造ラインのリニューアル工事により増強された設備を活用して効率的な生産体制の構築に注力しております。

一方、物流関連部門では、物流費の高騰に直面する中、筑波工場の倉庫棟増設によるドリンク剤の直送体制の構築や輸入バルクの輸送業者変更によりさらなる業務の効率化を実施し、コスト低減に努めております。

## ● クローズアップ

### 手も洗えるハンドクリーム「マジックハンドクリーム」(指定医薬部外品) 発売

3月1日より、手も洗えるハンドクリーム「マジックハンドクリーム(販売名:薬用フルハンド)」(指定医薬部外品)を全国の薬局・ドラッグストアにて販売展開しました。

#### ● 消毒・洗浄ができるハンドクリームです

手にうれしい、もちもち成分コンドロイチン硫酸Na(粘稠剤)、うるおい成分ヒアルロン酸Na(湿潤剤)、ぷるぷる成分スクワラン(軟化剤)を配合。

#### ● いつでもどこでも水を使わずに手を清潔にできます

ベンゼトニウム塩化物が皮膚を消毒します。また低濃度エタノール(添加物・溶剤)も配合しています。消毒効果は約4時間持続。インフルエンザの流行時期や、災害などの非常時の備えに。外出時に手が洗えないときの手の洗浄・消毒に便利です。



## ● 次期の見通し

2020年3月期(2019年度)の通期連結業績につきましては、売上高650億円(前期比5.1%増)、営業利益50億円(前期比33.8%増)、経常利益50億円(前期比51.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益38億円(前期比10.0%増)と増収・増益を見込んでおります。なお、第2四半期(累計)は前年度に比べ研究開発費が増加すること等から減益を見込んでおります。

### 売上高

医療用医薬品事業につきましては、国内においては薬価引き下げや後発品の影響を受けて厳しい状況が続くものの、鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト静注500mg」の上市や、「アコファイド」、「ゼンタコート」の市場浸透が見込まれ、また、海外市場においては「アサコール」、「Entocort」の伸長により、増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業につきましても、引き続き積極的な広告宣伝活動の実施を予定しており、「ヘパリーゼ群」をはじめとした主力製品の牽引により、増収を見込んでおります。

### 利益

研究開発費等の経費の増加が見込まれるものの、売上高の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増益を見込んでおります。

	第65期	第66期(予想)
売上高	618億31百万円 (前期比 4.2%減)	650億円 (前期比 5.1%増)
営業利益	37億37百万円 (前期比 22.6%減)	50億円 (前期比 33.8%増)
経常利益	32億95百万円 (前期比 35.2%減)	50億円 (前期比 51.7%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	34億54百万円 (前期比 16.9%減)	38億円 (前期比 10.0%増)



# 株主様ご優待のお知らせ



当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA~F、6つのコースからご希望のいずれかを、100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはGコースをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

**A**  
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品  
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



**B**  
コース

健康飲料  
「コンドロビー®  
濃縮液潤甦®  
(じゅんこう)」  
2本セット



**C**  
コース

美容・健康商品  
「コンドロマックス®・アポスティー®セット」



**D**  
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液  
「ZZ:CC®(ジージー・シーシー)  
アドソープ  
エッセンス(30g)」  
2本セット



**E**  
コース

上質なうるおいを実感する3品目  
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



**F**  
コース

コンドロイチン研究を活かした、うるおい実感の上質スキンケア  
「イオナR  
スペシャルケア  
2点セット」



**G**  
コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク  
「ヘパリーゼ®W」10本



## 鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト静注500mg」の製造販売承認を取得

当社は、鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト静注500mg」（一般名：カルボキシマルトース第二鉄、以下「本剤」）について、2019年3月26日付で厚生労働省から製造販売承認を取得しました。

本剤は、Vifor Pharma社（St. Gallen, Switzerland; Executive Chairman : Etienne Jornod）によって開発されたカルボキシマルトース第二鉄を有効成分とするデキストラン非含有静注鉄剤で、鉄欠乏性貧血または鉄欠乏症の治療剤として、現在までに世界76ヵ国で承認を取得しております。

日本においては、2013年7月にVifor Pharma社との間で締結した独占的開発・販売に関するライセンス契約に基づき、当社が国内で臨床試験を実施し、2018年3月に製造販売承認申請を行っております。

本剤は、1回あたり鉄として500mgの静脈内注射あるいは静脈点滴投与が可能となっており、既存鉄注射剤と比べて、少ない投与回数で必要量の鉄を投与できることが臨床試験で示されました。当社は、本剤が治療の新たな選択肢となり、鉄欠乏性貧血治療に貢献できるものと期待しております。

## Tillotts Pharmaが潰瘍性大腸炎治療剤「ASACOL 1600mg」を販売開始

「ASACOL 1600mg」は当社グループ会社、スイスのTillotts Pharmaが「TP05」の開発コードで臨床開発を進めていた製剤で、軽症から中等症の潰瘍性大腸炎治療薬としては初めてメサラジンを1600mg含む製剤です。新たに開発した「\*OPTICORE™ Technology」によって、高用量のメサラジンをより確実に大腸で放出させることを可能としました。

「ASACOL 1600mg」は2018年12月までに欧州15ヵ国で承認を取得しており、そのうちデンマーク、オランダなど4ヵ国で販売を開始しております。引き続き、欧州各国における承認取得と販売開始に向けた準備に注力しており、順次販売国を拡大してまいります。



\*OPTICORE™ は、Tillotts Pharmaの登録商標です。

## ヘパリーゼシリーズ（清涼飲料水） 新製品発売

スーパーマーケットなどで展開するヘパリーゼスーパーの上位品「ヘパリーゼスーパーリッチ」と、ヘパリーゼWシリーズ初のゼリー飲料「ヘパリーゼW Jelly（ゼリー）」を2019年3月に発売しました。

### ヘパリーゼスーパーリッチ

「ヘパリーゼスーパーリッチ」は肝臓エキスを「ヘパリーゼスーパー」の2倍に増量。さらにオルニチンやローヤルゼリーを新配合し、奥深いコクを味わえるマスカット風味に仕上げました。全国のスーパーマーケットなどで販売中です。

### ヘパリーゼW Jelly

「ヘパリーゼW Jelly」は肝臓エキスに加え、ローヤルゼリー、アルギニン、ビタミンC、ナイアシンなどを配合したマンゴー&パイン味のやわらか食感のゼリー飲料です。ゆっくりと食事を摂ることができない時、食欲が湧かない時などに手軽に素早くパワーをチャージし、1日を元気に過ごしたい方々をサポートいたします。6月より全国のコンビニエンスストアへの展開を開始しました。



# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
<b>流動資産</b>		<b>38,505</b>	<b>38,723</b>
現金及び預金		10,166	8,045
受取手形及び売掛金		15,613	14,952
たな卸資産		9,375	10,023
その他		3,372	5,743
貸倒引当金		△22	△40
<b>固定資産</b>		<b>76,895</b>	<b>71,710</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>23,340</b>	<b>22,913</b>
建物及び構築物		7,709	7,573
機械装置及び運搬具		3,267	3,167
土地		11,701	11,662
建設仮勘定		292	84
その他		370	425
<b>無形固定資産</b>		<b>32,337</b>	<b>29,799</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>21,216</b>	<b>18,997</b>
投資有価証券		6,935	5,538
繰延税金資産		90	44
退職給付に係る資産		13,571	12,922
その他		659	507
貸倒引当金		△40	△15
<b>資産合計</b>		<b>115,400</b>	<b>110,433</b>

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
<b>[負債の部]</b>			
<b>流動負債</b>		<b>36,159</b>	<b>38,838</b>
買掛金		2,072	1,763
短期借入金		24,926	27,988
その他		9,160	9,086
<b>固定負債</b>		<b>13,544</b>	<b>12,247</b>
長期借入金		8,676	7,795
退職給付に係る負債		750	648
資産除去債務		54	55
その他		4,063	3,747
<b>負債合計</b>		<b>49,704</b>	<b>51,086</b>
<b>[純資産の部]</b>			
<b>株主資本</b>		<b>54,773</b>	<b>51,534</b>
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		11,685	11,685
利益剰余金		42,096	43,822
自己株式		△5,600	△10,565
その他の包括利益累計額		10,758	7,650
その他有価証券評価差額金		752	△21
為替換算調整勘定		3,260	2,084
退職給付に係る調整累計額		6,745	5,588
非支配株主持分		163	162
<b>純資産合計</b>		<b>65,696</b>	<b>59,347</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>115,400</b>	<b>110,433</b>

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2017年4月1日から 2018年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高		64,568	61,831
売上原価		18,341	17,752
売上総利益		46,226	44,078
返品調整引当金戻入額		48	38
返品調整引当金繰入額		38	46
差引売上総利益		46,235	44,071
販売費及び一般管理費		41,405	40,334
営業利益		4,830	3,737
営業外収益		490	290
営業外費用		231	732
経常利益		5,089	3,295
特別利益		691	1,984
特別損失		203	59
税金等調整前当期純利益		5,577	5,221
法人税、住民税及び事業税		869	1,061
法人税等調整額		524	696
当期純利益		4,183	3,463
非支配株主に帰属する当期純利益		25	9
親会社株主に帰属する当期純利益		4,157	3,454

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2017年4月1日から 2018年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		8,821	5,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		1,563	△2,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		△9,628	△4,534
現金及び現金同等物に係る換算差額		159	△224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		916	△2,114
現金及び現金同等物の期首残高		9,118	10,034
現金及び現金同等物の期末残高		10,034	7,920

## 連結株主資本等変動計算書 (要旨)

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：百万円、端数切捨て)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	6,593	11,685	42,096	△5,600	54,773	752	3,260	6,745	10,758	163	65,696
会計方針の変更による累積的影響額			△19		△19						△19
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,593	11,685	42,076	△5,600	54,753	752	3,260	6,745	10,758	163	65,676
当期変動額											
剰余金の配当			△1,708		△1,708						△1,708
親会社株主に帰属する当期純利益			3,454		3,454						3,454
自己株式の取得				△4,965	△4,965						△4,965
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△774	△1,176	△1,156	△3,107	△1	△3,109
当期変動額合計	—	—	1,745	△4,965	△3,219	△774	△1,176	△1,156	△3,107	△1	△6,328
当期末残高	6,593	11,685	43,822	△10,565	51,534	△21	2,084	5,588	7,650	162	59,347

## 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,705名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

## 役員 (2019年6月27日現在)

代表取締役 会長兼CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役 社長兼COO	伊 部 充 弘
取締役副社長	遠 藤 広 和
常務取締役	岸 本 誠
取 締 役	小 森 哲 夫
取 締 役	野 本 亀久雄
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	河 越 利 明
取 締 役	草 野 研 治
常勤監査役	降 旗 繁 弥
常勤監査役	高 見 幸二郎
監 査 役	中 由 規子
監 査 役	紙 透 大

## 事業所

- |           |            |
|-----------|------------|
| ● 本社      | ● 福岡支店     |
| ● 札幌支店    | ● 中央研究所    |
| ● 仙台支店    | ● 埼玉工場     |
| ● 東京支店    | ● 筑波工場     |
| ● 北関東営業所  | ● 札幌物流センター |
| ● 南関東営業所  | ● 東京物流センター |
| ● 名古屋支店   | ● 埼玉物流センター |
| ● 大阪支店    | ● 大阪物流センター |
| ● 大阪第2営業所 | ● 九州物流センター |
| ● 中四国支店   |            |

## 連結子会社 13社

- |   |
|---|
| ● Tillotts Pharma AG (スイス)                                  |
| ● ZPD A/S (デンマーク)   |
| ● ゼリアヘルスウエイ株式会社   |
| ● Tillotts Pharma AB (スウェーデン)                               |
| ● Tillotts Pharma Ltd. (アイルランド)                             |
| ● Tillotts Pharma UK Ltd. (英国)                              |
| ● Tillotts Pharma Czech s.r.o. (チェコ)                        |
| ● Tillotts Pharma Spain S.L.U. (スペイン)                       |
| ● Tillotts Pharma GmbH (ドイツ)                                |
| ● Tillotts Pharma France SAS (フランス)                         |
| ● イオナ インターナショナル株式会社   |
| ● 株式会社ゼービス  |
| ● Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd (ベトナム) |

## 株式の状況

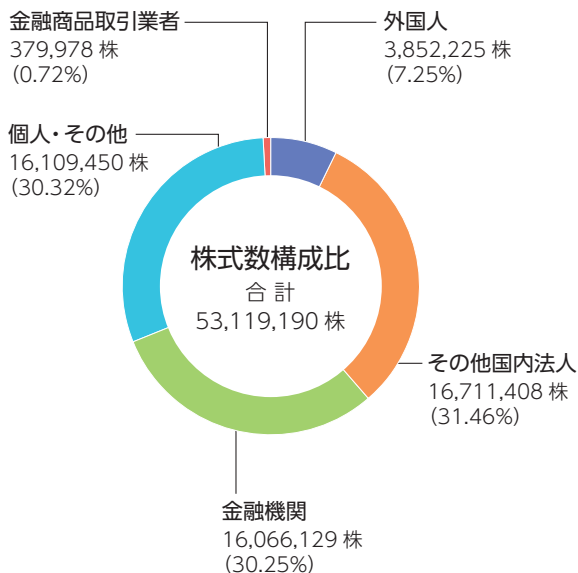
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	11,850名

## 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	9.9
株式会社三菱UFJ銀行	2,107,050	4.4
森永乳業株式会社	1,940,215	4.0
伊部幸顕	1,592,967	3.3
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,432,300	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1,412,800	2.9
株式会社三井住友銀行	1,406,131	2.9
株式会社みずほ銀行	1,406,053	2.9
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.5
ゼリア新薬工業従業員持株会	985,938	2.1

(注)出資比率については、自己株式(5,199,132株)を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株価および出来高の推移

株価(円)

3,000 -

2,500 -

2,000 -

1,500 -

1,000 -

500 -

0

2018年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2019年

1月

2月

3月

出来高(千株)

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金のお支払いについて**  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **「配当金計算書」について**  
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。



### 最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

<http://www.zeria.co.jp/>



### ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080  
<http://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬  
ZERIA